

意見・要望

総務市民委員会所管分

(1) 危機管理部の所管に関する事務

大規模災害への対応については、災害対策本部を中心に、関係部局の機動的な対応、医師会との十分な連携を図り、地域の防災力を高めるための施策を講じられたい。また、避難所については、女性や社会的弱者の視点に立った運営を図るとともに、ペット同行避難における「ペット避難受入れに関するガイドライン」の普及啓発を図られたい。

特殊詐欺対策については、「柏市振り込め詐欺等被害防止等条例」に基づき、警察等関係機関とも連携し、抑止、撲滅を図られたい。

客引き・スカウト対策については、街頭による呼びかけ等がまちの賑わいに影響がないよう、慎重かつ集中的、効果的に実行されたい。

交通安全教室については、参加人数を増やし、より多くの市民が交通安全に対する意識を高められるよう、実施回数を増やすなどの施策を講じられたい。

(2) 総務部の所管に関する事務

老朽化した公共施設については、社会インフラであるため整備の促進を図られたい。

職員管理については、正規職員の増員を図るとともに残業時間の削減に努められたい。

障害者雇用については、本市への受験者の増加を図り、合格者の着実な採用に結びつくよう努めるとともに、障害者の福祉に関する施策との連携を意識し、効率的に運用するよう努められたい。

(3) 企画部の所管に関する事務

行政手続のオンライン化・電子申請については、DXの活

用により、書かない窓口・行かない窓口など、更なる市民サービスの利便性・効率性の向上に努められ、いつでもどこでもつながる市役所を目指されたい。

まちづくり推進のための調査（市民意識調査）については、第五次総合計画の進捗状況を正しく把握の上、次期総合計画策定作業の参考とされたい。

平和事業については、市民団体等と協力するなどしながら、特に次年度は周年事業に取り組まれたい。

(4) 財政部の所管に関する事務

行財政運営方針に基づく数値目標を明確にするとともに、着実に遂行されたい。

交付金・交付税や国庫補助金等については、事業計画に見合う財源確保に努めるとともに有効に活用されたい。

市債の借入に当たっては、安定性・有利性・効率性及び透明性の確保が図られるよう努められたい。また、基金の運用に当たっては、確実かつ効率的で有利な運用に努められるとともに、必要に応じ有効に活用されたい。

市税の徴収に当たっては、支払困難な市民に対しては、徴収猶予の活用など、1人1人の生活に寄り添った丁寧な対応に努められたい。

(5) 広報部の所管に関する事務

広報に関しては、必要な情報を分かりやすくかつ速やかに提供するよう努められたい。

(6) 市民生活部の所管に関する事務

マイナンバーカードの関連事業については、改めて業務フローの見直しと業務効率化を図られたい。

ウクライナからの避難者に対しては、引き続き安心して生活ができる支援の充実を図られたい。また、経済的支援に留まらず、当事者の声を聴き、交流の場を設けるなど、心のケアにも努められたい。

市民公益活動を支援するための市民公益活動育成補助金，
市民公益活動促進基金のさらなる周知と拡充に努められたい。

(7) 消防に関する事務

消防力の維持向上に資するため，消防職員の充足率を上げるよう図られたい。また，職員のより働きやすい環境整備に努められたい。

A E Dについては，引き続き普及・啓発・教育及び訓練に取り組むとともに，A E D G O（A E D 運搬システム）への救命ボランティア登録の推進を図られたい。

健康福祉委員会所管

(1) 健康医療部の所管に関する事務

地域包括支援センター運営事業については、高齢者の総合相談所として加齢性難聴の相談機能を設置し、専門家に繋げるような業務を取り入れるよう努められたい。

介護施設整備については、介護職員の人材確保に努め、状況を踏まえた計画とされたい。

在宅高齢者助成事業については、入院等やむを得ない場合などによっては、紙おむつを支給するなど、柔軟な対応に努められたい。

高齢者の保健事業と介護予防事業の一体化については、更なる拡大・充実に努め、より多くの方のリスクを低減できるよう、幅広い周知に取り組まれたい。

がん検診事業については、市民の健康増進のため、より一層の啓発に取り組まれたい。

コロナ禍で縮小していた母子保健推進事業や産前・産後サポート事業については、健康的で心安らかな産前産後を実現するため、出産、子育ての相談事業や訪問事業、当事者間のコミュニケーション事業を、さらに充実するよう努められたい。

国民健康保険制度及び後期高齢者医療保険制度については、所得の低い加入者が多く、自治体や広域連合の努力だけでは改善できないため、保険制度の抜本的な改革と国の予算拡充を求められたい。

病院事業会計については、自立した経営を目指し、時勢や地域の状況にあった経営基盤の強化に取り組まれたい。

(2) 福祉部の所管に関する事務

重層的支援体制整備事業については、多機関協働事業や参加支援事業など各事業の位置付けを再確認し、部署間の連携を一層深め、より充実した事業内容となるよう努められたい。

生活困窮者自立支援事業については、物価高騰等の影響も

考慮した予算措置に努められたい。また，生活保護制度の周知については，最後のセーフティネットとしての情報発信に注力するとともに，申請しやすい環境づくりに取り組まれたい。

障害者相談支援事業については，障害者及びその家族が安心して気軽に相談できるように努めるとともに，障害者雇用の拡充に尽力されたい。

教育子供委員会所管

(1) こども部の所管に関する事務

家庭児童相談事業について、関係機関と密接に連携し、きめ細かい対応をすることで、児童虐待等の早期発見及び未然防止につなげられたい。

市立保育園保育士の処遇改善に努めるとともに、私立保育園の保育士についても、同様の対応が図られるよう補助金の適切な支給に努められたい。

(仮称) 柏市子ども家庭総合支援センター整備事業については、開設に向け、職員の配置と人材確保に万全を期して臨まれたい。

ひとり親家庭等生活向上事業については、内容をさらに充実させるとともに、進学のための支援を関係部署と連携し検討を進められたい。

児童措置費、保育園費、幼稚園費など、数億円の不用額が発生していることから、適切な執行に努められたい。

(2) 教育委員会の所管に関する事務

学校建設費については、各種工事の際にガイドラインを遵守しつつ、計画の進捗管理を適切に行うよう努められたい。また、学校の校舎長寿命化改良事業については、速やかに進めるとともに、校舎内外の施設設備の充実・改善や安全対策を図られたい。

小中一貫校については、子供たちの教育を最優先に考えて慎重に進められたい。

文化財の維持管理及び伝承事業については、地域の歴史や文化を継承し、市内の貴重な文化財の保護に努められたい。

放課後こども教室推進事業については、国・県の動向を判断し、積極的な支援を行い、より多くの必要としている児童への利用が図られるよう努められたい。

教育相談事業及び不登校児童生徒の支援事業については、学校・地域・家庭が一体となった体制の強化に努められたい。

また、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等専門性が高い職員の配置をさらに進め、教職員等の待遇改善に取り組まれない。

就学援助関係経費については、就学援助対象者が漏れなく利用できるよう、申請の仕組みを改善されたい。

振興備品整備事業については、市内小中学校の図書の実に努められたい。

建設経済環境委員会所管

(1) 環境部の所管に関する事務

環境美化推進事業については、今後も継続的にゴミゼロ運動などの事業に取り組まれない。また、事業系ごみの削減の啓発についても引き続き取り組まれ、さらなるごみの減量に努められたい。

地球温暖化対策については、市民への適切な働きかけを行うとともに、全庁的な連携の強化による対策の拡充に努められたい。

ごみ出し困難者支援収集事業については、庁内関係部署との連携を図り、今後の利用者増加を踏まえた取組を進められたい。

ぽい捨て防止事業については、路上喫煙抑止・取締りを推進するため、実施に係る人員の充実に努められたい。

(2) 経済産業部の所管に関する事務

手賀沼アグリビジネスパーク事業については、農業振興の観点から、さらなる充実を図られたい。

新規就農者や農業後継者の担い手確保のためのさらなる支援の充実や、柏農産物のPRなどの取組に努められたい。

中小企業融資事業については、伴走型支援を進められたい。

市場の再整備事業については、場内活性化と再整備に向け、早急に対応を図られたい。

(3) 都市部の所管に関する事務

柏駅周辺のまちづくりについては、必要な情報の公開を行うとともに、関係者との調整に遺漏のないよう努められたい。

旧そごう柏店跡地利用及び柏駅東口周辺整備については、関係者間での議論を尽くし、市民にとって誇ることができるまちづくりを進められたい。

建築物の耐震改修促進事業については、さらなる活用を図るため、市民への周知に努められたい。

(4) 土木部の所管に関する事務

乗合ジャンボタクシー，予約型相乗りタクシーカシワニクル及び買い物支援タクシーについては，引き続き事業の充実を図るとともに，さらなる周知に努められたい。あわせて，市民の利便性向上を図るため，シルバーパス事業について早期の実現を進められたい。

(5) 上下水道局の所管に関する事務

水道事業及び下水道事業については，引き続き経営の健全化・効率化を進められたい。また，近年市内各所で集中豪雨による浸水被害の発生が増えていることから，引き続き対策を進められたい。